



「花巻地区かわまちづくり計画」の進捗状況について報告します

「かわまちづくり」とは「河川空間とまち空間が融合した、賑わいある良好な空間形成を目指す取組」のことを指します。また「かわ」とそれにつながる「まち」を活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などを活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者である国土交通省との連携の下、地域の賑わいを創出する取組みに対する支援として「かわまちづくり支援制度」があります。

市では、銀河大橋周辺から花巻南大橋周辺の北上川の河川空間を活用した「花巻地区かわまちづくり計画」について、「かわまちづくり支援制度」への令和7年8月の新規登録に向け、河川管理者（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所）や関係団体等と協議調整を行いながら、国へ申請を行うための準備を進めています。

1 「花巻地区かわまちづくり計画」の概要

■花巻市全体の観光集客力の向上を図ります

花巻市には市内を流れる北上川において、宮沢賢治ゆかりの様々な歴史や観光施設があるほか、水上や水辺を活用したアクティビティなど、観光や教育資源による地域の価値を高める素材が多く存在しています。

花巻市のかわまちづくり推進事業は、北上川の河川管理者である国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所と花巻市によるハード整備と、現在すでに北上川をフィールドとして活動している各種団体の活動を組み合わせ、集客力のある花巻市内の温泉郷と宮沢賢治ゆかりのスポットが点在する市街地を有機的に結び付け、花巻市全体の観光集客力の向上を図ろうとするものです。

■堤防の機能強化にもつながります

北上川河川敷（朝日橋から朝日大橋までの区間）における花火大会のイベントなどの観客席としても利用されている現在の堤防について、観客席が少ないため河川堤防の傾斜した土羽法面（土手）で花火を見ている方がいるなど危険な状況にありましたが、イベント等における活用の利便性を高めるため、観覧席としても利用可能な階段状のコンクリート製護岸を整備することで、結果として堤防の機能強化につながるなど、地域の安全性の向上にも寄与することとなります。

2 「花巻地区かわまちづくり計画」の基本方針

本計画対象地の主要な資源を結ぶ北上川右岸の形状が北斗7星のように、また、花巻温泉郷がカシオペア座のように見えることや、花巻市ゆかりの偉人である宮沢賢治が星を題材にした作品を数多く残していることから、「北上川・北斗7星プロジェクト（7つの輝きづくり）」と称し、次の7つを基本方針として位置付けています。

- ①水上アクティビティの充実
- ②水辺プラザ（イギリス海岸）の活用
- ③イベントの展開
- ④体験型アクティビティの創出
- ⑤新たな花の風景づくり
- ⑥賢治を感じる散策路ネットワークづくり
- ⑦市街地と花巻温泉郷との連携

※次ページに7つの基本方針ごとの具体的なハード整備等について記載しています

①水上アクティビティの充実

- 【国整備】・花巻スポーツランド（北上川フィールドライフクラブ）が行っている北上川の川下りのスタート地点である銀河大橋付近へ船着き場を整備し、安全でスムーズな船への乗り降りができるようにする。
- 【市整備】・同団体が行っている北上川の川下りのスタート地点へ、団体客等に対応するための、大型バスの駐車・転回スペースを整備する。
 - ・同団体が行っている北上川の川下りのゴール地点である花巻スポーツランド付近へ、川下り後に利用者が疲れた体を癒せるように、更衣室やシャワー施設、トイレ等を整備する。

②水辺プラザ（イギリス海岸）の活用

- 【国整備】・イギリス海岸周辺のステップ段差が大きい水辺プラザの階段護岸について、全ての利用者が使いやすいような階段護岸へ改良する。
- 【市整備】・水辺プラザ詩の森公園やイギリス海岸付近さわやかトイレについて、和式トイレの洋式化を行うほか、イギリス海岸を撮影できるようなスポットの整備や案内板の整備を行う。

③イベントの展開

- 【国整備】・北上川河川敷（朝日橋から朝日大橋までの区間）における花火大会のイベントなどの観客席としても利用されている現在の堤防について、観客席が少ないため河川堤防の傾斜した土羽法面（土手）で花火を見ている方がいるなど危険な状況にあったが、観覧席としても利用可能な階段状のコンクリート製護岸を整備することで、結果として堤防の機能強化にもつなげる。
 - ・同区間は花火大会や消防・水防演習など多くのイベントが行われているが、河川管理用の既存坂路について、それらの各種イベントでの利便性や河川敷の利用増進を図るため、坂路の拡幅改良整備を行う。
 - ・河川敷内のイベント広場を管理するための管理用道路を舗装し利便性の増進を図る。
- 【市整備】・各種イベント時に利用できる、常設トイレを朝日橋付近の河川堤防上に整備する。
 - ・朝日橋河川敷について、イベント時には臨時駐車場として利用できるヤードを整備し、普段は草地広場として活用する。
 - ・朝日橋から河川敷に降りる坂路下付近に日常利用可能な駐車場を整備する。

④体験型アクティビティの創出

- 【国整備】・花巻スポーツランド（北上川フィールドライフクラブ）が行っている川下りの途中下船ポイントとして、宮沢賢治ゆかりの「下ノ畑」付近へ新たに船着き場を整備する。
 - ・同団体が行っている北上川の川下りのゴール地点である花巻スポーツランドへの坂路について、利便性向上のためアスファルト舗装を行う。
- 【市整備】・休憩や観光立ち寄りスポットとして「下ノ畑」ポケットパーク整備としてベンチや四阿（あずまや）を整備する。

⑤新たな花の風景づくり、⑥賢治を感じる散策路ネットワークづくり

- 【市整備】・既存の宮沢賢治の史跡をたどるウォーキングトレイル事業も活用しながら、それらを伝える案内版を設置する。

⑦市街地と花巻温泉郷との連携 ※ソフト事業方針

花巻温泉郷と水上アクティビティをセットにした旅行商品づくり等を実施する。

市が実施することとしている施設整備について、現段階で市の負担は約3億円ですが、その財源として国の補助が受けられるよう働きかけていきたいと考えています。国の補助が受けられたとしても、事業費の一部は整備時に市が負担することとなりますが、市負担分については、市の基金または一般財源に代えて、充当率95%、交付税措置率70%の非常に有利な起債である合併特例債を使うことも検討していきたいと考えています。

